

その他の事業のその他における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	9～ 10	事務所のカギを開けて中に入っていたところ、風にあおられたドアが急に閉まってきて右手薬指をはさんだ。	48	1～ 9
1	9～ 10	事務所からゴミ箱に向かっていた途中、犬走りの段差につまずき右ひじを強打し、両手手のひらもすり傷だらけになった。	63	—
1	15～ 16	地下機械室内に於いて、受水槽（高さ2M）点検終了後、受水槽タラップ（梯子）を降りようとした際、右手に点検表を持っていた為、左手で梯子を掴んでいた状態で足を滑らせ転落（高さ2M）し、床（コンクリート）に左後部肋骨部を強打し骨折した。	58	—
2	9～10	勤務地の駐車場を歩いている時、車輪止めに足をかけて転倒した。両手に荷物を持っていた為、左手及び胸部を強打した。	57	300 ～ 499
3	10～11	岸壁を歩いているときに足を滑らせ落ち負傷した。	60	10 ～ 29
3	9～10	返却BOXより入門許可書を回収し、サブ守衛所へ戻ろうとした際、段差で足を踏み外し転倒した。	43	50 ～ 99
3	16～17	店舗にて、ゴミを出そうと両手に持って、段差に気付かず転倒し、頭と右腕を強打した。	68	1～ 9
		プレハブ解体現場にてプレハブ解体中、足場から足を踏み外し、約2m下に転落		1～

3	16~17	し、右膝皿が亀裂した。	57	9
4	23~ 24	作業の合間に飲み物を買って休憩所を出る際、休憩所の扉がホーム段差ギリギリにあったため足を踏み外し、ホーム下に転落し右足を捻った。	38	50 ~ 99
4	15~ 16	異常ETC対応のため車線へ慌てて向かったところ、ピットのフタ（鉄板）につまずき前に転倒し、両膝と左手をついた。お客様対応のためそのまま処理を行い、対応後に痛みがあった。	51	1~ 9
4	20~ 21	業務が終了し、入退店口から従業員駐車場へ向かう途中の用水路にかかる橋付近の道路を歩行時、橋を渡ろうとして足を出した所が橋から50cm位右側の柵がない所であった。考えごとをしていたため、足元を確認しておらず、用水路に転落して負傷した。	48	50 ~ 99
4	5~6	3F駐車場でフェンスネットにかかっていたゴミを取ろうと動いた時、車止めに気づかず転倒し、フェンスのポールに左肩が当たり、顔面からフェンスネットに倒れ込んだ。	70	10 ~ 29
5	14~ 15	下校時、校庭に集合している学級の児童に忘れ物を届けようと、児童昇降口から走り出ようとした際、閉まっているガラス扉が開いていると勘違いし、ガラス面に激突して転倒し、腰を痛めた。	58	30 ~ 49
5	12~ 13	営業活動のため歩行中、移動時間を有効利用しようと住宅地図に書き込みをしながら相当なスピードで歩いていた時に、前方不注意により歩道のガードレールに右太腿を強打してしまった。	40	10 ~ 29
6	9~ 10	事務所の移転のため、引越作業をしていたところ、荷物を運んだ際に扉に足をぶつけて、左足の指を骨折した。	47	1~ 9
6	8~9	市民温水プールにおいてプールサイド清掃中、排水溝に躓き転倒した。その際に左肩部を強打し、骨折した。	59	100 ~ 299
6	14~	店敷地内に駐車していた業務車両へ戻る際、用水弁の蓋（50cm角の薄い鉄板）がずれて開いていたことに気付かず左足を踏み入れてしまい、その拍子に蓋が斜めに	32	100 ~

	15	持ち上がり、左股下に切創と左脚股関節を捻挫した。		299
7	11~12	発掘調査現場で約1m掘り下げた箇所を降りる際、普段は梯子や階段で下りるが、大丈夫だと思い、飛び降りて左足を捻ってしまった。歩く際に足首に痛みがあり、少し経過観察をしていたが、痛みが若干あった。左第5中足骨骨折と左足関節捻挫であった。	66	30 ~ 49
7	9~10	点検対象の橋梁付近の路上で規制看板等の確認をするために高さ0.73mの擁壁を乗り越えようと、擁壁天端に左足をかけ立ち上ろうとした際にバランスを崩し、右足から路面に着地した。この時の衝撃で右足膝下を骨折した。	48	30 ~ 49
7	3~4	ご契約先にて、懐中電灯を使用して物件の外周を巡回点検中、懐中電灯の光に対し、蟬が複数、飛び込んできた。驚いてバランスを崩してしまい、幅15センチほどの側溝で足を挫いた。当初痛みはなく勤務を続行したが、足首付近が大きく腫れて痛みが酷くなってきた。骨折していたもの。	37	10 ~ 29
7	3~4	お客様を自宅まで送り、車を降りた際、暗くて見えず、誤って側溝に落ちた。	53	30 ~ 49
7	23~24	道路上で、依頼を受け客を車で迎えに行き、車から降りて、客を探していたときに客を見つけて歩み寄ろうとし、足元に用水路があることに気付かず用水路に落ちた。	53	50 ~ 99
7	0~1	お客様の自宅まで運転代行をした。随伴車が迎えに来るまで少し歩こうと思い、暗闇の中を何メートルか歩いた時に同僚から電話があった。用件が済み、何歩か歩いた時に1m弱の高さの溝へ落ち、左手でカバーしたのか手首が痛くなった。	55	1~ 9
7	22~ 23	下り78キロポスト路肩にて救援作業を行ない、お客様の落し物を探しに非常電話へ向う際、路肩の轍に足を取られ、転倒し右手を着いた弾みに右肩を脱臼した。	45	10 ~ 29
		単独作業中に発生したため、以下状況による推測である。通常業務が終わって、配達のため商品を自家用車に積み込んだあと、戸締りをしようとしたとき、オーバースライダーシャッターのチェーンホイストに不具合があった（ホイストの位置		10

7	17～ 18	は1階床面より約7m)。これを修復しようと、2階（床面より約4.6m）の踊り場から、その手すり（その上端は2階床面より約1.2m）などに上り作業しようとしたところ、バランスを崩して転落しそうになり、ホイストのチェーンに一旦は掴まったが、耐えられず転落した。その時の高さは、4m前後と推測される。	41	～ 29
7	21～ 22	お客様宅を訪問後、自転車を取りに建物の裏側に歩いて向かうとき、後方からの自転車の接近に気付き、右に避けたところ足を踏み外してしまい、1.4m程の高さの溝に落下し、腰と左足を強打して負傷した。	26	～ 99
7	15～ 16	鍵交換作業をしており、交換する鍵を社用車に取りに行こうとしたとき、エレベーター前にあったコンクリートの段差に気付かず、左足を強くぶつけた。	34	1～ 9
7	15～ 16	就業場所である託児室において、帰宅する児童を見送るために、託児室の玄関で立ったまま靴を履こうとしたとき、誤って体勢を崩して転倒し、左大腿を地面に打ちつけ負傷した。	79	～ 49
7	17～ 18	解体作業が終了し、事務所に戻り、業務報告書の作成と打合せが終わり、帰ろうとして出入り口の開いていたドアの吊元と壁の間に右手を置き、靴を履こうとしたとき、急にドアが閉まり、右手小指・薬指辺りを挟んで負傷した。	57	～ 29
7	17～ 18	会社内車庫にて、車庫内端に駐車していた作業車で使用した道具を整理中、作業車後方の高さ約2mの壁から足を踏み外して落下し、右足を骨折した。	39	1～ 9
7	14～ 15	マンションエレベーター昇降路ピット内にて、塔内下部減速リミットスイッチ取替え作業中に、ピット床より3m程高い位置に設置された下部減速リミットスイッチの確認のため、ピット床より1.7m程高い梁に上がり、確認作業を行っていた。一旦ピット床に下りようと、バッファ（緩衝器）に左足を置いたとき、踏外して転倒し、左足膝下を負傷した。	40	～ 29
9	11～ 12	店にて販売就業中、店内準備室を段ボールを持って歩いていたところ、掃除用の水ため場に左膝が落ちてしまい強打する。通常、当該の水ため場はふたが閉まっているが、事故当時は開放されていた。	32	～ 299
9	20～	営業活動中、田んぼ道で、夜間の街灯がほとんどない場所だったため、暗くて足元が見えず、道路脇に深さ1.5メートルほどの側溝があることに気づかず、誤って側	27	～ 10

	21	溝に転落し、左ひざを負傷した。		29
9	8～9	粉乾燥調製施設で、粉の貯蔵庫からサンプルを取り出し、ドアを閉めようとしたところ、バランスを崩して後方に倒れた。倒れた際に、機械（コンプレッサー）に胸がぶつかり、肋骨を骨折したものである。	65	10 ～ 29
9	13～ 14	納入後バス停付近にて歩行中に歩道の排水溝フタにつまずいて転倒（前方）して、膝（左）、右手を強打した。	62	50 ～ 99
9	10～ 11	検針現場に到着し、門扉から約10m先の玄関右横の木戸の中にあるメーターに向かうが木戸が施錠されていたため引き返す、その際、お客様敷地内のマンホール（直径30cm）に気付かず左足で踏んだところ、蓋が外れて左脚が膝まで穴にはまり、その際に左膝下を穴のふちで打った。そのまま検針を続け通常通り検針を終了し帰宅したが、徐々に痛みが出て腫れてきた。	46	100 ～ 299
10	16～ 17	倉庫の外で大豆荷受作業中、フレコンの大豆の水分を測っている時、左足をすぐ後ろにあった側溝に落とし転倒した際に、側溝の角に左足を強打し、アキレス腱が断裂した。	46	30 ～ 49
10	14～ 15	水路の線量測定の為、道路側から約90cm下の段差に降り、雑草で見えづらい水路を確認していた時に、足元が滑り左仰向けに水路に転倒、その瞬間、左手で受け身を取り、負傷。	44	10 ～ 29
10	15～ 16	消防設備点検物件の駐車場にて強風の中点検資料が飛ばされ、隣の敷地に落ちたので取ろうとブロック塀に乗ろうとしたところ、上部のブロックごと崩れて隣の敷地3m下に落下した。	50	30 ～ 49
10	13～ 14	当社加工場内に於いて、掃除中に滑り、手をついた時に骨折。床は常に水で濡れている状態で気を付けていなければ滑る事が起こり得る。本人は転倒した時に自分の体を支えるために手をついた。その時体の重みで手に負担がかかった。	70	30 ～ 49
10	11～ 12	お客様先で段差につまずき、その勢いで自動ドアに頭部と左手をぶつけ左手小指を骨折した。	63	50 ～ 99

11	15~ 16	土場として使用している市有地で重機を使用して、切枝腐葉土の移動を二人で交替で行っていた。自分がこの作業を行っていない時間を利用して、道路近くまで垂れ下がった枝等の処理をしようと三点式8段脚立を側溝を跨ぐ形で安定性を確認の上立て掛けた。脚立の6、7段目に足を掛けて、手持ちノコギリで処理しようと枝をつかんだところ枝が折れ身体のバランスが保てなくなり、側溝の中に飛び下りた。側溝の中に多量の枯れ葉があり、被害を最小限にするため側溝に飛び下りた。	65	50 ~ 99
11	17~ 18	就業が終わりタイムカード打刻後、会社敷地内の駐車場に向かって歩いていたところ、足元の側溝に気付くのが遅れ足を踏み外し、溝に落ちた弾みでバランスを崩した際に横にあったガードレールに顔面を打ちつけ転倒し全身を負傷した。	68	100 ~ 299
11	14~ 15	当社倉庫内にて、倉庫の整理中、約2.5m上に置いてあったワイヤーや三角パイロンなどを整理した後、梯子で下に下りようとした際、バランスを崩した為地面に飛び降りる形で着地をしてしまい、右足かかとを負傷した。	21	1~ 9
12	8~9	ゴルフクラブ男子浴室内で、水を抜いて浴槽内を清掃中、浴槽上り台に足を掛け、浴槽外に出ようとした所、足を滑らせて後ろ向きに倒れ、左腰を強打した。当日レントゲンを撮るが異常は見つからず、痛みが引かない為、後日に再び病院に行きMRIを撮ったところ、骨折と判明した。	67	10 ~ 29
12	21~22	コンテナへの貨物積み込み作業を行い、作業場を移動するため、コンテナを仮置きする高さ50cm程のプラットホーム上を歩行し、プラットホームから下りた際に左足を捻り、暫く休憩したあと帰宅した。翌日に病院で診察を受け、左足関節外果骨折で全治2ヶ月との診断を受けた。	23	100 ~ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html